

# SOS ネット老上

セーフティ・おいぬみ・システム

No. 9  
2026年  
3月1日

老上学区まちづくり協議会

SOS委員会

老上学区

検索



## 協力し合って避難生活

# 避難所運営訓練

## 学生団体Enの企画で実施



「避難所のことを考えるきっかけになった」「避難者の組み合わせ(配置)を考えて、楽しかった」「学校の授業でもあったが、さらに学べた」…参加した小学生の感想です。大災害が発生して、避難所が開設されたときには、住民自らも運営に加わることが求められます。

1月31日に実施した老上学区避難所運営訓練は、昨年より老上の防災の取り組みに関わってくれている、大学生の団体「En」の企画と進行で行われました。当日は老上学区防災ネットワークに加入する町内会、マンション、施設の防災担当者や防災フェスこども実行委員など50人近い参加がありました。

避難者を受け入れることを想定したゲーム形式の机上訓練では、課題も多く出されて、次に繋げる必要を認識しました。



老上学区内の広域避難所……………

老上小学校、老上中学校、光泉カトリック中学校・高等学校

**避難先は  
安全が確保  
できる場所**

避難所へ避難することのみが避難ではなく、安全が確保できる場所へ避難する「分散避難」を取り入れます。**親戚や知人宅への避難**、近隣市町村や都道府県をこえた**広域避難**、自宅が安全(強固、高所など)であれば留まる**在宅避難**、安全な広場などに停めた車での**車中泊避難**などを想定しましょう。 ※「草津市防災ハンドブック」から

## 老上のみなさんと行動

学生団体 En(えん)

私たちは、これまで老上の地域の皆さんと一緒に、防災でつながりを深めてきました。昨年8月30日に開催された防災フェスでは子どもたちと約3か月にわたる準備を経て、防災劇やブース出店をしました。防災はなにも「特別なこと」ではなく、日常の一部であり、つながりを生み出すきっかけになると私たちは信じています。



そんな私たちが老上でやりたいこととして、「避難所運営訓練」を実施しました。避難所は、行政だけでなく地域のみなさんが率先して運営を担う必要があることをご存じでしょうか?いざというときに「何をすればいいかわからない」を「自分にもできる」に変えるための訓練です。年齢や立場に関係なく、一人ひとりが地域の一員として関われる防災の形を、老上から一緒につくっていきたくて考えています。訓練は難しいものではなく、初めての方やお子さん連れでも参加できる内容としました。

大丈夫。私たち En が、地域の一步を Encourage します!



# 多彩な活動で防災力アップ

質も量もあわせて継続  
消防協会から表彰を受ける

## 野路川ノ下町内会

### 町内の訓練を年4回実施

1月11日、草津市消防出初め式が草津市役所で開催され第1部の式典では野路川ノ下町内会が、積極的な活動の功績により、滋賀県消防協会 湖南広域支部長から表彰状を授与されました。第2部では、草津市役所前で草津中学校吹奏楽部による演奏が行われる中、消防団や防災指導員の方々と共に、自主防災組織として分列行進が行われました。



川ノ下町内会では、毎月の機関員によるポンプ車の点検、年4回の自衛消防隊による消防訓練が行われています。川



の水をポンプで吸い上げて放水訓練も行われました。また年1回全町民を対象とした防災訓練も行なっています。訓練

の日は参加のみなさんがまず、第1次集合場所に集まりました。そこで、役員さんが要援護者の把握をして、全員で川ノ下会館に集合しました。そして、町内会役員、消防団や防災指導員の方々からの指導に加え、消防車も来て消防隊員さんのお話を聞き、起震車体験をし、消火器での消火訓練や映像での学びを行うなど子どもから高齢者まで、日頃からの防災意識を高めることができました。更生保護女性会、健康推進員、日本赤十字奉仕団の方々による炊き出しをいただき、解散となりました。

### 日頃の町内活動で絆づくり

納涼祭や運動会などのイベントや地域サロン活動、体操、老人クラブの活動を通じて日頃からコミュニティを大切に、いざというとき助け合える絆づくりが行われています。

2月には、自主防災組織の方々を中心にレベルアップを図るため、京都市市民防災センターで「防災研修」が行われました。町内会のホームページを作成し、情報発信にも努められています。どうぞ一度チェックしてみてください。

<https://minakusa.jp/> (SOS委員 石本 恵津子)

工夫してつながる防災  
無理なく参加する取り組み

## レジェ南草津

### LINE オープンチャットも活用

レジェ南草津では、11月15日に避難訓練を行いました。水消火器訓練の他、安否確認の訓練として昨年度よりLINE オープンチャットを活用しています。避難だけの訓練は、在宅のご家庭しか参加できませんでした。LINEオープンチャットでは、発災時に各ご家庭の被災状況を即座に確認することができ、訓練時にはどこからでも参加しやすくなりました。



### 防災カフェで交流

今年度は、防災について考えながらマンション内での繋がりを持つ「防災カフェ」も集会室にて行いました。マンションは、顔を合わせ会話することがあまりない環境にあります。各ご家庭によって事情や設備など心配ごとも様々で、今まで見えてこなかった改善点も知ることができました。特に、「避難梯子の使い方を知りたい」という声があり、次回には使用方法を共有する予定です。

今後も住民同士、無理のないつながりを持ち、災害が起きた時に最小限の被害で済むよう備えていけたらいいと思います。

(レジェ南草津 防災担当理事 礒嶋 玲子)



### ■ 老上学区防災ネットワークは

加入団体を募集しています ■

町内・マンションの住民組織、学区内の施設、学区内で活動する団体、事業所など